

部長会議開催結果 概要

●日時	令和5年5月8日（月） 午後4時15分から午後5時まで																				
●場所	3A会議室																				
●出席者	■は出席（代理出席は○）																				
	<table border="1"> <tr> <td>■ 市長</td> <td>■ 内田副市長</td> <td>■ 高橋副市長</td> <td>■ 教育長</td> </tr> <tr> <td>■ 政策部長</td> <td>■ 総務部長</td> <td>■ 暮らし安心部長</td> <td>■ 文化スポーツ部長</td> </tr> <tr> <td>■ 福祉部長</td> <td>■ こども健康部長</td> <td>■ 環境産業部長</td> <td>■ はだの魅力づくり担当部長</td> </tr> <tr> <td>■ 都市部長</td> <td>■ 建設部長</td> <td>■ 上下水道局長</td> <td>■ 教育部長</td> </tr> <tr> <td>■ 消防長</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	■ 市長	■ 内田副市長	■ 高橋副市長	■ 教育長	■ 政策部長	■ 総務部長	■ 暮らし安心部長	■ 文化スポーツ部長	■ 福祉部長	■ こども健康部長	■ 環境産業部長	■ はだの魅力づくり担当部長	■ 都市部長	■ 建設部長	■ 上下水道局長	■ 教育部長	■ 消防長			
	■ 市長	■ 内田副市長	■ 高橋副市長	■ 教育長																	
	■ 政策部長	■ 総務部長	■ 暮らし安心部長	■ 文化スポーツ部長																	
	■ 福祉部長	■ こども健康部長	■ 環境産業部長	■ はだの魅力づくり担当部長																	
	■ 都市部長	■ 建設部長	■ 上下水道局長	■ 教育部長																	
■ 消防長																					
進行：副市長 事務局：総合政策課長、課長代理、担当																					
陪席：秘書課長																					
●会議	1 市長あいさつ																				
	2 報告事項																				
	(1) 令和5年度固定資産評価に使用される路線価等について [資産税課]																				
	(2) ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画（仮称）案の策定について [はだの魅力づくり推進課]																				
	(3) 神奈川県による第8回線引き見直しについて（秦野市都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針） [まちづくり計画課]																				
(4) 土地利用委員会調整部会の審議案件について [開発指導課]																					
3 その他																					
●会議概要																					
1 市長あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度が始まってから1か月が経過した。 4月に異動した職員も新しい職場に慣れて力を発揮していることと思う。ゴールデンウィークも天候に恵まれ、リフレッシュできたと思うが、今日からまた、気持ちを新たに職務に取り組んでもらいたい。 ・地方統一選挙が終わり、本市選出の県議会議員は、神倉県議と谷県議の2名となった。今後の情報共有等について、適切な対応をお願いしたい。 ・3年にわたって生活に影響を及ぼしてきた新型感染症が、本日から季節性インフルエンザと同様の位置づけとなった。 市民生活や地域活動等がこれまで以上に活発になると思うが、連休明けの感染拡大について懸念する声もあるため、引き続き状況を見守っていただきたい。 ・新型感染症による地域コミュニティの弱体化や地域の絆の希薄化が懸念されるので、状況を把握・分析して、今やるべきこと、支援すべきことについて適切に対応してほしい。 ・先月16日に、4年ぶりの「丹沢まつり」を開催し、秦野戸川公園と西中学校、両会場合わせて5万4千人の来場があった。 ・これから本格的な登山シーズンに入る。登山以外にも様々な魅力を有する「OMOTAN」を大いに発信していきたい。 ・先月実施した「重要施策ヒアリング」は、施策の方向性や優先順位を見定めるための機会であり、予算編成等につながっていくものである。 																				

- ・各部局長の思いのこもった決意表明と丁寧な説明のおかげで、有意義な議論ができた。年度初めの慌ただしい中での対応に感謝する。
- ・各部局の取り組みが縦割りとならないよう、それぞれの立場で議論を行いながら、協力・連携して仕事を進めてもらいたい。
- ・「表丹沢の魅力づくり」、「小田急線4駅周辺のにぎわい創造」、「カーボンニュートラル」及び「デジタル化の推進」は、組織一体となって取り組まなければ、成し遂げられない。
- ・「新東名高速道路」の全線開通を令和9年度に迎える今、様々な取り組みができるものと思う。
- ・特に「カーボンニュートラル」と「デジタル化の推進」は、今までの仕事を根底から見直していかなければいけない。
- ・例に挙げた4つは秦野市の将来を左右する大きな課題であるため、失敗を恐れず、積極果敢に挑戦してもらいたい。
- ・先月24日に医療法人葵鐘会と、「女性と子供が住みやすいまちづくり」のための連携協定を締結した。
- ・本年11月には、鈴張町地内に「産科有床診療所」が開設される予定。同会とは産後ケアも含めた子育て環境の充実に向けた連携も図っていく。
- ・担当職員や関係者の努力の積み重ねで、子育て支援策の一丁目1番地まで来ることが出来た。
- ・引き続き、妊娠出産から子どもたちが社会に羽ばたくまで切れ目のない子育て支援に取り組んでいきたい。
- ・今月6日、秦野市出身で人気ロックバンドLUNA SEAの真矢氏に、はだのふるさと大使へ就任していただいた。秦野の魅力発信にぜひ、活用してもらいたい。
- ・5月に入り、気温が上がる日も多くなると思う。季節の変わり目でもあるため、体調に十分留意してもらいたい。
- ・連休明けで、5月病というように、メンタル面で不安定になることもあると思う。それぞれの職場でしっかり職員のケアをしてほしい。特に新採用職員や異動した職員への気配りをお願いしたい。

2 報告事項

(1) 令和5年度固定資産評価に使用される路線価等について [資産税課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 商業系用途地域に住宅が混在していることは、土地評価上はマイナスという理解でよいか。

答. 土地評価上は取引事例が重視されるため、商業系用途地域では商業施設が集積し、商業関係の取引実績が多いほうが評価につながると考えられる。

問. 地価が低く抑えられていることは、土地を購入するうえではメリットであり、社会増の上昇要因にもなると考えるがどうか。

答. 指摘のとおり、社会増を図るうえではメリットと考えられる。

しかし、市街化区域における生産緑地（農地）の割合が高いという本市の特性から、社会増による土地需要は、潜在的宅地（生産緑地）によって供給できるとみなされ、地価の上昇につながりにくい状況にあると考えている。

(2) ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画（仮称）案の策定について

[はだの魅力づくり推進課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(3) 神奈川県による第8回線引き見直しについて（秦野市都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針）

[まちづくり計画課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 松原町地区を「見直しの検討地区等」としている理由は何か。

答. 松原町地区は都市計画上、土地区画整理事業による土地の高度利用等を図る地域としているが実施できていないため、引き続き、実現に向けた課題の整理等について検討したいと考えている。

(4) 土地利用委員会調整部会の審議案件について

[開発指導課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

3 その他

夏季等の執務における職員の軽装（クールビズ）及び暑中休暇の実施について

[総務部長]